

## 令和2年度 第2回仙台市都市計画協議会 議事概要

日 時 令和2年8月31日(月) 14:45~16:10

会 場 エル・パーク仙台 セミナーホール

議 題 仙台市都市計画マスタープランの策定について

【次期仙台市都市計画マスタープラン素案等】

配付資料 資 料 1 次期仙台市都市計画マスタープラン素案

別 紙 1 都心まちづくりのエリア図

資 料 2 次期都市計画マスタープラン素案への意見交換会 議事概要

### 【主な意見等】

#### 次期仙台市都市計画マスタープラン素案について

##### (都市づくりの目標像について)

- ・市民に見てもらおう上で、暮らしに視点を置いて、「暮らす」が最初に来て、「働く」、「学ぶ・楽しむ」という順番が良いのではないかな。
- ・活動の掛け合わせは非常に重要だが、P.41以降に描かれている絵が場所ごとになっており、掛け合わせになっていない。
- ・仙台の特徴である掛け合わせは、「働く」ところの中に「学ぶ」もあるし、「楽しむ」もある。「暮らす」の中に「学ぶ」もあるし、「楽しむ」も「働く」もある。基本的には、色んな場所が、色んな人が、色んな立場から使っているということが、なんとなく実現できているというのが仙台の良さである。
- ・豊かな緑とは、今あるものだけでのことを言っているのではなく、これからもっと豊かにしていくことも含まれていると思うので、P.44の絵にはそういった部分も反映されても良いのではないかな。

##### (都市づくりの基本方針について)

- ・(基本方針1-1) 市役所本庁舎建て替えのように、既に決まっているものだけでなく、まだ決まっていない公共施設についても、まちづくりとして誘導していくという姿勢を示した方が良いのではないかな。
- ・(基本方針1: 都心まちづくりのエリア図(別紙1)) 西側の範囲をもう少し広げて、美術館や青葉山公園などが見えるようにしてほしい。それらと都心との連携が重要になってくるので、都心だけではなく、都心へ重要な影響を与えるその周辺も含めた図面にしてほしい。
- ・(基本方針2-3) 集落維持や農業振興の発展につながるような表現がもっと欲しい。

#### (都市づくりに係る部門別の方針について)

- ・ 自然環境について、森林の維持管理だけでなく、木材の利用促進を進めるといったような林業のサイクルのような部分で緑を守るといったことも必要ではないか。
- ・ 緑の大切さと自然の優遇、防災面などで緑地をどのように捉えていくのかが必要ではないか。
- ・ 交通がなければ社会生活の安定が保てないので、その部分を強く伝えるように示してほしい。
- ・ 都市づくりの基本方針4-3に記載されている「災害ハザードエリアにおける開発抑制など安全なまちづくりを進めます」に対応する具体的な考え方が必要ではないか。

#### (都市計画の推進に向けた方策について)

- ・ 国土交通省が推奨している立地適正化計画と地域公共交通計画を一体的に策定する旨を記載して欲しい。

#### (その他)

- ・ 2020年の計画としては、全体的に抽象的な表現で、いつの時代でもあてはまるような印象を受け、時代性があまり感じられない。また、仙台である独自性が感じられない。
- ・ 現在、都心などで取り組んでいる個別施策について、これからも取り組んでいくという姿勢をどこかで示して欲しい。
- ・ 「将来起こりうる急激な社会の変化に対する柔軟な対応」とあるが、本当に対応できるのか。予想できず、無理だからこそ、その時に困らないよう、少なくとも今あるもの中心に持続可能な形に高めていくのではないか。
- ・ コロナ禍によって、地方で働きやすくなる可能性があるため、仙台にとってはチャンスではないか。ワーケーションなど職住近接しながら、十分働ける条件があるとなれば、そういった点を意識したまちづくりを検討しても良いのではないか。